

**<桜、新芽に新学期>**キャンパスではソメイヨシノの開花が遅れ新学期に合わせて満開となりました。雑木林の芽吹きとの歩調も合い新鮮な気持ちで学生生活をスタートするに相応しいですね。花見といえど桜、樹の下で楽しむもよし、山一面に広がる花を遠目に見るもよし、「花の雲 鐘は上野か浅草か(芭蕉)」。加えて様々な色合いの新芽や若葉の中とところどころに浮かび上がる桜も佳しです。「さまざまのこと思ひ出す 桜かな(芭蕉)」そして「見かぎりし 故郷の山の 桜哉(一茶)」、いろいろな想いを起こさせる花です。



**<頑張り三題>**まずは暖くなる前から石垣の隙間に根を下ろし頑張っているヒメオドリコソウです。栄養不足という風情もなくタフな植物で、色どりの乏しい時期には元気を与えてくれました。二つ目は収穫されてからどう



<ヒメオドリコソウ>

<丸大根、聖護院か大坂大根?>

いう訳か放置されたままの丸大根です。蓄えた栄養と水分だけで花茎を伸ばし花を咲かせています。その横では長大根も同じく頑張っています。三つ目は「小さいのに冬の間凍え



ず飢死せずよく頑張った!」と声をかけたいニホンアマガエルです。枯れ葉の混じった土の下から這い出てきたところでしょうか、体にはまだ泥が付いています。



<右上:エビネ、右下:シャガ>→

**<一気に春>**ビオトープは一気に春を迎えようとしています。年々株を大きくしているのがまずニリンソウで今が花盛りです。心待ちしていたエビネは立ち上がる花茎の数が昨年より大分に増えました。木陰ではシャガとカキドオシが咲き出し、ヤナギは芽を出しています。日当たりにはカラスノエンドウが花を咲かせ冬を越したキチョウが蜜を吸っています。水面にはコウホネの若葉が幾つも顔を



<カキドオシ>

<カラスノエンドウとキチョウ>

を出し、水中ではメダカの動きが活発になってきました。アマガエルより一足早く出てきたシュレーゲルアオガエルの美声がビオトープの池に響いています。ウグイスの鳴き声もします。まだ上手ではありません。(文と写真:松本正勝)